

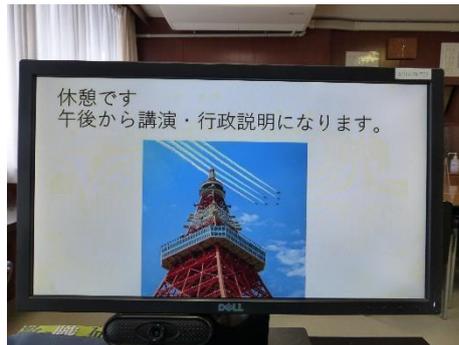


未来を夢見て Season3

2022/5/30 No. 146

「With コロナ」の時代へ

昨日は仙台市内でも30℃近くまで気温が上がりましたが、一転して今日は過ごしやすい一日となりました。5月29日（日）、まほろばホールでまほろば大学の開校式に参加してきました。コロナ禍で過去2年間は開校式が行われませんでした。今年は十分に感染対策を施した上で実施することになりました。また、先週金曜日には、東京新橋で全国連合小学校長会の総会・研修会が3年振りに参集方式で開催されました。ただ私は、オンラインで校長室から参加させていただきました。まだまだ、コロナ感染症の影響は残っていますが、少しずつ社会が「with コロナ」で動き出していることを肌で感じました。



先週3年生では、栄養士さんをお招きし、「食に関する指導」を行っていただきました（上写真右）。いつも給食の献立を考えてくださっている栄養士さんのお話だけに、3年生の皆さんも熱心にお話を聞くことができました。そして、何よりバランス良く食べることの大切さを学ぶよい機会となりました。



さて、週明けの月曜日、いつもお世話になっている地域コーディネーターの千坂さん、小川さん、渥美さんにおいでいただき、水田の代かきを行っていただきました（上写真左）。先週5年4組さんでは、総合的な学習の時間に、米作りについて学んでいたところでした（上写真中）。今年も学校の水田で稲の生長の様子を身近に観察できることは何よりです。また、3時間目には6年4組さんで、ICTタイムでスフィロを使ってプログラミングの学習を行っていました（上写真右）。さすが6年生、淳先生から出された課題に対して自分たちで答えを考え、プログラムを組み立てる姿に、6年生の能力の高さを感じました。

子どもたちが友だちと協力し、時に助け合いながら学習に取り組む姿を見ていて、冒頭で紹介したまほろば大学の開校式で、上野教育長先生が紹介された『21世紀に生きる君たちへ（司馬遼太郎）』の一説が浮かんできました。

（前略）「助け合うという気持ちや行動のもとのもと、いたわりという感情である。」ということです（後略）。そして、この感情は決して私たち人間の本能ではないだけに訓練して身に付けていかなければならない・・・と続けてあります。なるほど、そう考えていくと納得できる部分があるのは私だけでしょうか。

（文責：手代木）